

2022年3月期  
**第2四半期決算説明会**

2021年11月18日

「建てる」を超え、未来を生みだす。



**東急建設**

2022年3月期  
**業績予想修正について**

2022年3月期第2四半期 決算説明会

# 業績予想修正の要因について

## 2021年11月8日「業績予想の修正に関するお知らせ」

- ✓ 「施工中工事における基礎杭の先端不良について」(2021年7月26日公表)に係る損失見込み額を計上
- ✓ 過年度に引き渡した土木工事における仮設物撤去費用の見込み額を計上
- ✓ 過年度に引き渡した一部の建築工事における施工不具合による瑕疵補修費用の増加額を見込む

## 2021年11月18日 「施工中工事における基礎杭の先端不良について（続報）」

- ✓ 2021年7月26日公表した、基礎杭先端不良の原因究明の過程において判明した「杭工事の施工記録と調査結果に関する齟齬」について、第三者を加えた社内検証委員会において検証した結果、一部の作業所職員によるコンクリート打設記録表等の改ざんが判明
- ✓ このような問題が発生したことにつきましては、お客様からの信頼を事業の根幹とする施工会社として到底許されるものではなく、組織としての品質管理体制にも問題があったものと認識し、重大かつ真摯に受け止めております

### 【再発防止】

#### 工事現場の品質管理体制強化

- 本社・支店による作業所支援体制の強化
- 特定工事に対する専門委員会の設置等
- 安全・品質・工程管理等のコア業務に関する技術員教育の強化

#### コンプライアンス教育の再徹底

- すべての役職員に対するコンプライアンス教育の実施



単位：百万円

【連結】	2022年3月期 通期予想				差異	
	A修正(11/8)		B当初(5/12)		A-B	
	金額	比率	金額	比率	金額	pt
売上高	267,000		285,000		▲18,000	
営業利益	▲3,600	▲1.3%	7,000	2.5%	▲10,600	▲3.8pt

要因① 個別要因による変動		要因② その他の変動	
金額	pt	金額	pt
0		▲18,000	
▲10,250	▲3.8pt	▲350	▲0.0pt

要因①を除いた場合

【個別】	金額	比率	金額	比率	金額	pt
売上高	250,000		267,000		▲17,000	
土木	64,200		69,800		▲5,600	
建築	184,100		195,500		▲11,400	
不動産等	1,700		1,700		0	
売上総利益	11,300	4.5%	21,600	8.1%	▲10,300	▲3.6pt
土木	▲1,400	▲2.2%	6,900	9.9%	▲8,300	▲12.1pt
建築	11,900	6.5%	13,900	7.1%	▲2,000	▲0.6pt
不動産等	800	47.1%	800	47.1%	0	0.0pt

金額	pt	金額	pt
0		▲17,000	
0		▲5,600	
0		▲11,400	
0		0	
▲10,250	▲3.6pt	▲50	▲0.0pt
▲6,750	▲9.8pt	▲1,550	▲2.3pt
▲3,500	▲1.1pt	1,500	0.5pt
0	0.0pt	0	0.0pt

金額	比率
250,000	
64,200	
184,100	
1,700	
21,550	8.6%
5,350	8.3%
15,400	8.4%
800	47.1%

## 要因① 個別要因による変動

- ✓ 2021/7/26開示した「基礎杭の先端不良」に係る損失見込み額を計上
- ✓ 過年度に引き渡した土木工事における仮設物撤去費用の見込み額を計上
- ✓ 過年度に引き渡した一部の建築工事における施工不具合による瑕疵補修費用の増加額を見込む

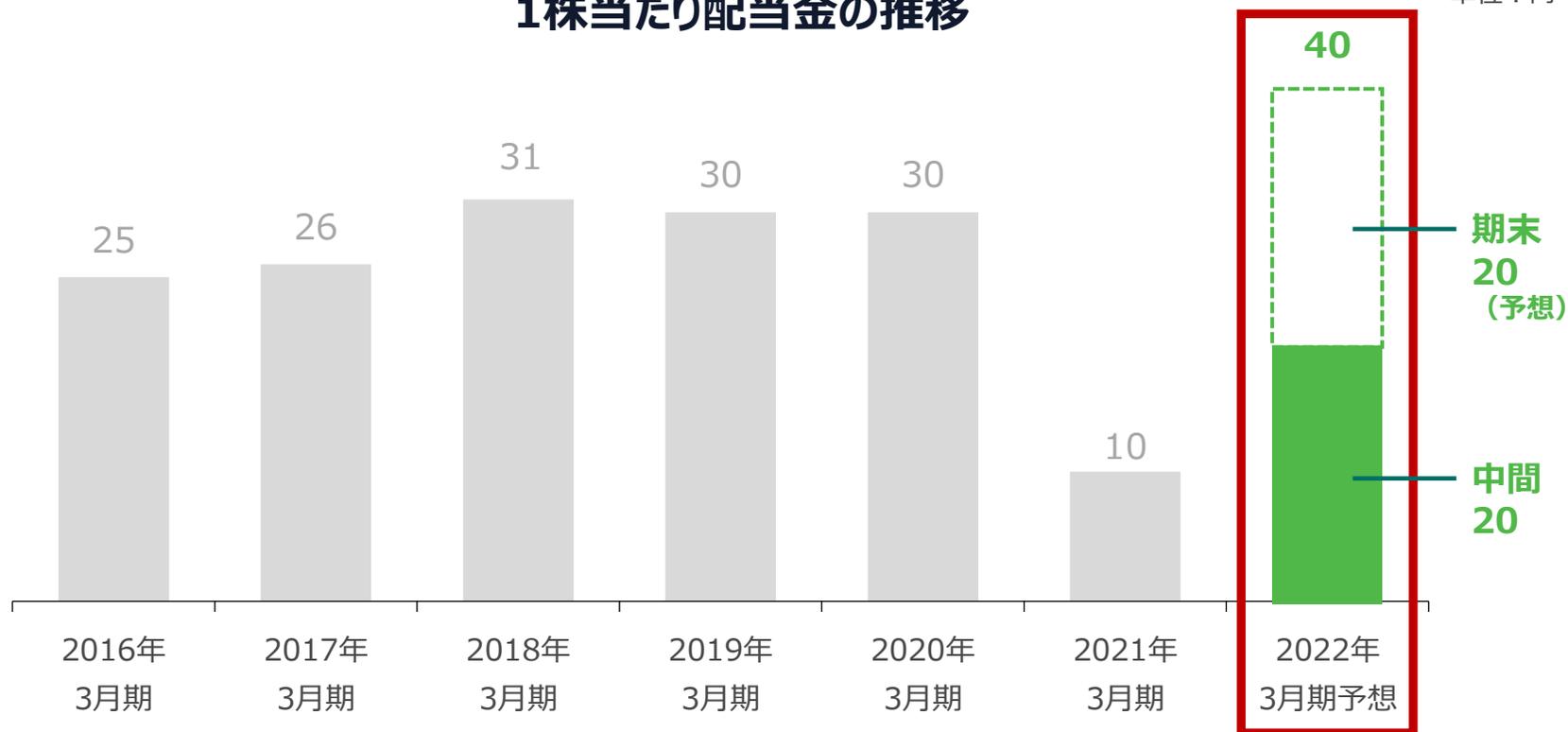
## 要因② その他の変動 (上記要因を除いた影響)

- ✓ 売上高は、受注時期のずれや一部工事の進捗遅れの影響等により完成工事高が減少
- ✓ 土木の総利益減少は、完成工事高の減少、鉄道土木の利益率低下、海外工事の影響
- ✓ 建築の総利益増加は、施工管理の創意工夫による工事原価低減、追加獲得、など

自己資本配当率（DOE）4.0%以上を目標とした方針に基づき、  
短期的利益のボラティリティに左右されにくい安定的かつ継続的な配当を実施

## 1株当たり配当金の推移

単位：円



<自己株式取得>

2021年3月期に取得した株式の総数：1,965,100株（取得価額の総額：999,976,175円）

2022年3月期

# 第2四半期決算概要

2022年3月期第2四半期 決算説明会

## 第2四半期決算概要

### 事業環境

- コロナの影響により業種によっては依然厳しい状況が続くものの、底堅い公共投資に加え、国内外経済回復の兆しに伴い持ち直しの動きが見られる。
- 倉庫・流通施設は堅調、工場の設備投資が期待される一方、宿泊施設の回復は鈍い。
- 資機材価格の上昇が続き、建設コストは上昇基調

### 連結業績

受注高(個別)	:	119,771百万円	(前年同期	122,357百万円、	2.1%減)
売上高	:	111,614百万円	(前年同期	95,423百万円、	17.0%増)
売上総利益	:	411百万円	(前年同期	8,323百万円、	95.1%減)
売上総利益率	:	0.4%	(前年同期	8.7%、	8.3ポイント減)
営業利益	:	△7,152百万円	(前年同期	1,192百万円)	

- 当社個別受注高は、前期から微減。通期予想に対する進捗は約47%。
- 連結売上高は、建築の前期受注獲得により増収。
- 売上総利益は、個別要因による損失見込みの計上などにより大幅減益。
- 営業利益は、売上総利益の減少により、大幅減益。

### 財政状況等

- 自己資本 93,886百万円、自己資本比率は44.3% (前期末比1.1ポイント減)

当社個別受注高は、前年同期比2.1%減。通期予想に対し約47%の進捗。  
完成工事高の増加により増収となるも、個別要因の損失計上により大幅減益

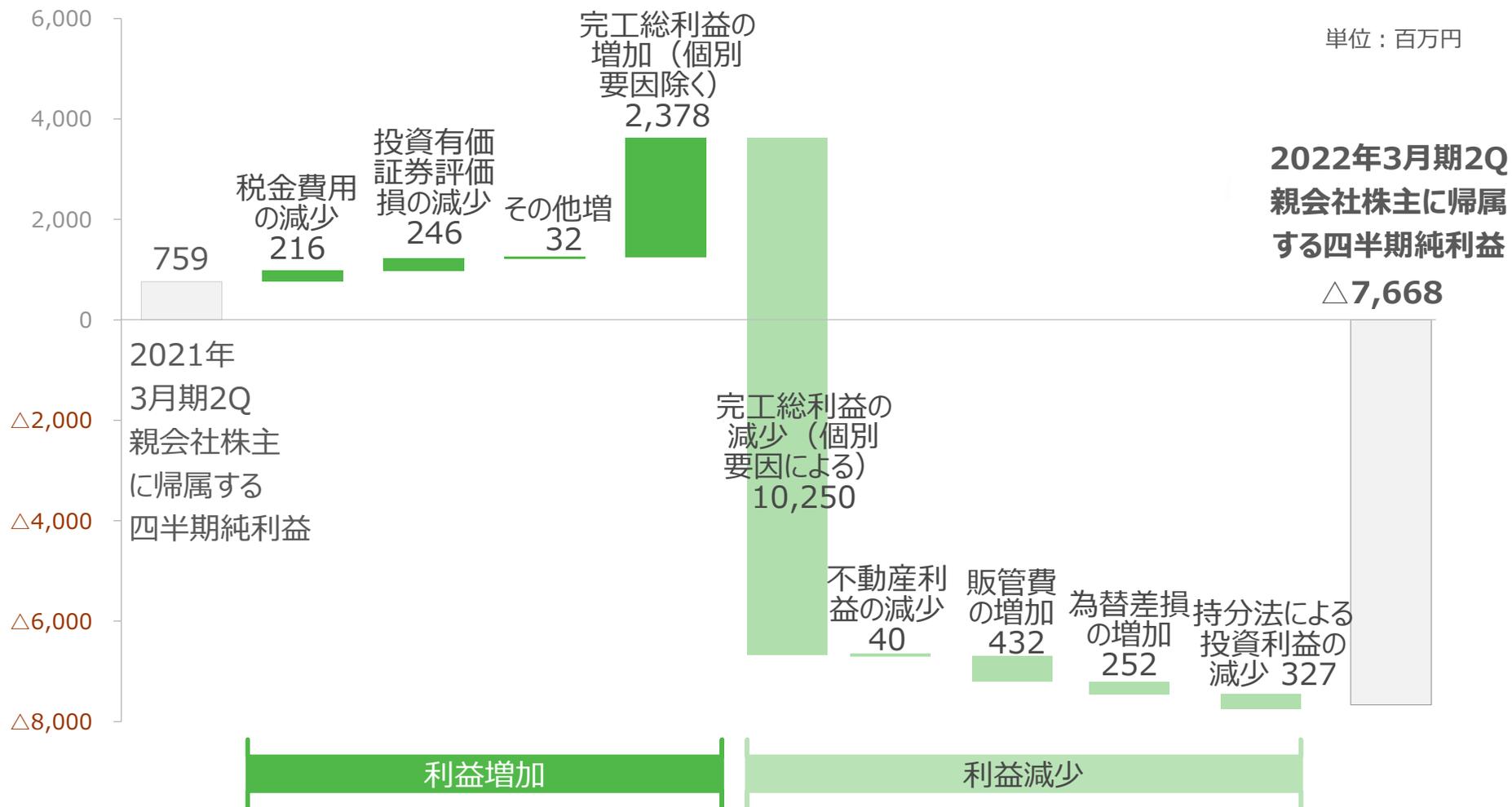
単位：百万円

科 目	2021年 3月期2Q	比率	2022年 3月期2Q	比率	対前年 増減	対前年 増減率
受注高（※個別）	122,357	-	<b>119,771</b>	-	△2,586	△2.1%
売上高	95,423	-	<b>111,614</b>	-	16,191	17.0%
売上総利益	8,323	8.7%	<b>411</b>	<b>0.4%</b>	△7,912	△95.1%
販売費及び一般管理費	7,130	7.5%	<b>7,563</b>	<b>6.8%</b>	432	6.1%
営業利益	1,192	1.2%	△ <b>7,152</b>	△ <b>6.4%</b>	△8,345	—
経常利益	1,680	1.8%	△ <b>7,151</b>	△ <b>6.4%</b>	△8,832	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	759	0.8%	△ <b>7,668</b>	△ <b>6.9%</b>	△8,428	—

※受注高は：東急建設単体の金額

# 四半期純利益の増減要素（連結）

## 個別要因の影響により完成工事総利益が大きく減少



## 建築の完成工事高増加により増収となる一方で個別要因の影響により大幅減益

単位：百万円

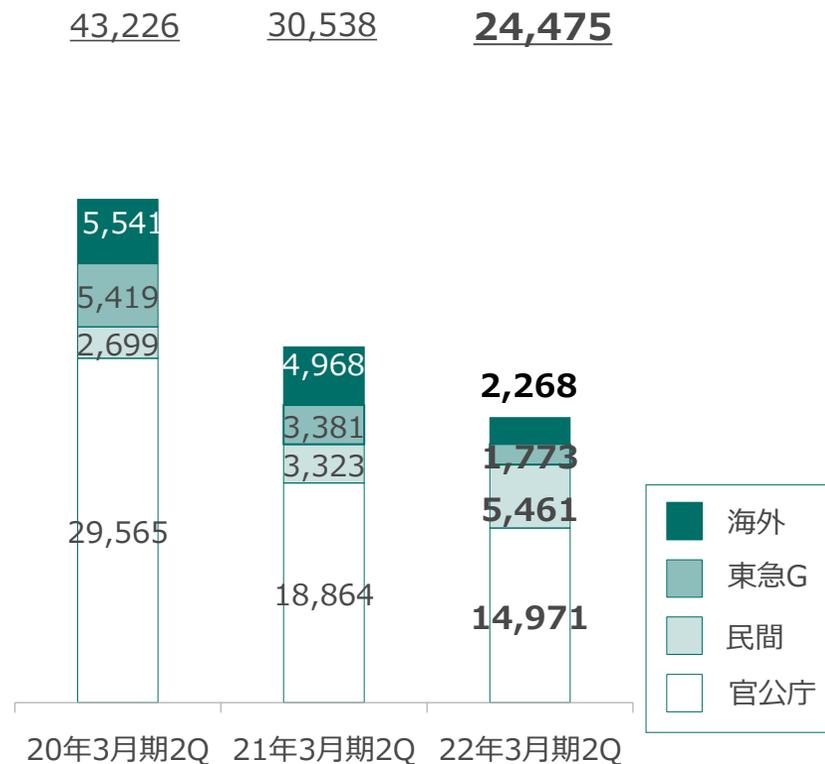
科 目	2021年 3月期2Q	2022年3月期2Q		対前年 増減	増減率
		決算	比率		
完成工事高	86,899	<b>103,901</b>	<b>(100%)</b>	17,002	19.6%
土木	30,538	<b>24,475</b>	<b>23.6%</b>	△6,063	△19.9%
建築	56,360	<b>79,426</b>	<b>76.4%</b>	23,065	40.9%
完成工事総利益	7,086	△745	△0.7%	△7,832	—
土木	2,604	△5,350	△21.9%	△7,955	—
建築	4,482	<b>4,605</b>	<b>5.8%</b>	123	2.7%
不動産事業等売上高	777	<b>818</b>	-	41	5.3%
不動産事業等総利益	418	<b>390</b>	<b>47.7%</b>	△27	△6.7%
売上高	87,677	<b>104,720</b>	-	17,043	19.4%
売上総利益	7,504	△355	△0.3%	△7,860	—
販売費及び一般管理費	6,869	<b>7,158</b>	<b>6.8%</b>	288	4.2%
営業利益	635	△7,513	△7.2%	△8,148	—
経常利益	1,076	△7,306	△7.0%	△8,382	—
四半期純利益	464	△7,708	△7.4%	△8,173	—

# 完成工事高・完工総利益（個別／土木）

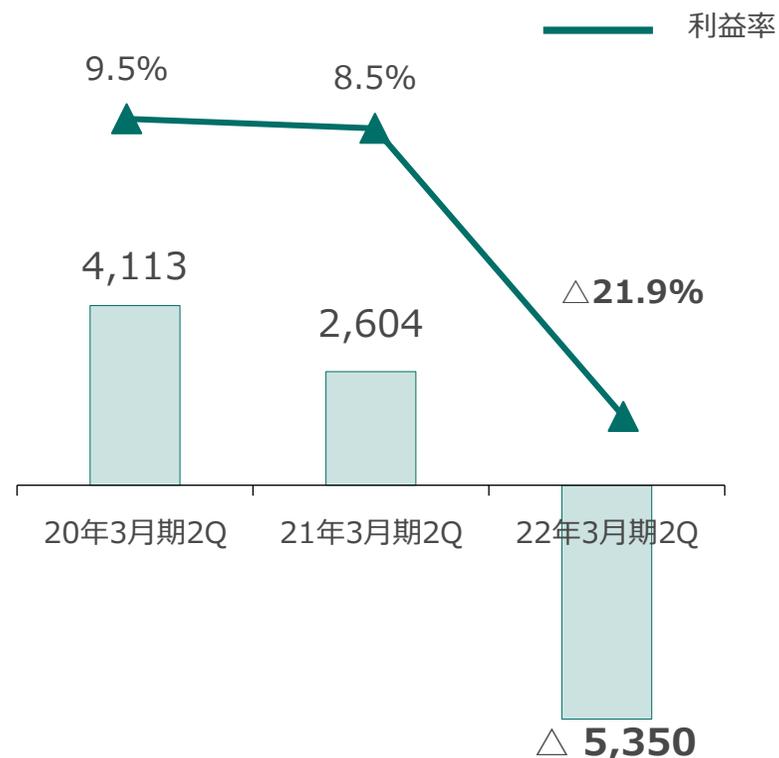
**完工高**：国内官公庁、海外の減少により減収  
**総利益**：個別要因影響の収益悪化により大幅減益

単位：百万円

## 完成工事高



## 完成工事総利益

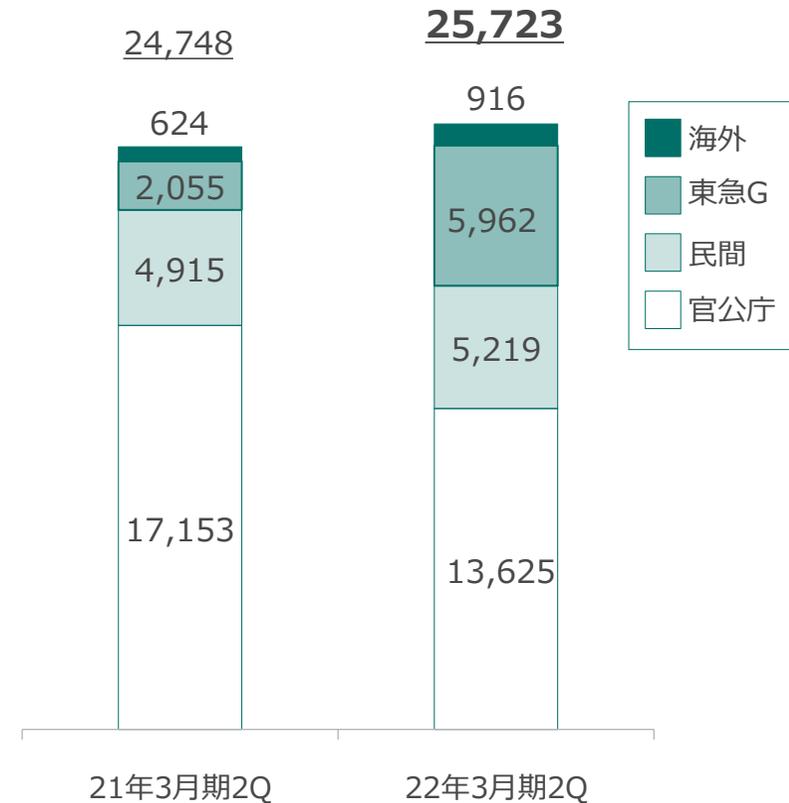


# 受注高（個別／土木）

東急Gは反動増、国内官公庁は前期から減少も着実に受注を獲得  
通期受注予想570億円に対し約45%の進捗

単位：百万円

		2021年 3月期2Q	2022年 3月期2Q	対前年 増減	増減率
土	国内官公庁	17,153	<b>13,625</b>	△3,528	△20.6%
	国内民間	6,970	<b>11,182</b>	4,211	60.4%
	内、一般民間	4,915	<b>5,219</b>	304	6.2%
	内、東急グループ	2,055	<b>5,962</b>	3,906	190.0%
木	海外	624	<b>916</b>	292	46.8%
		24,748	<b>25,723</b>	975	3.9%



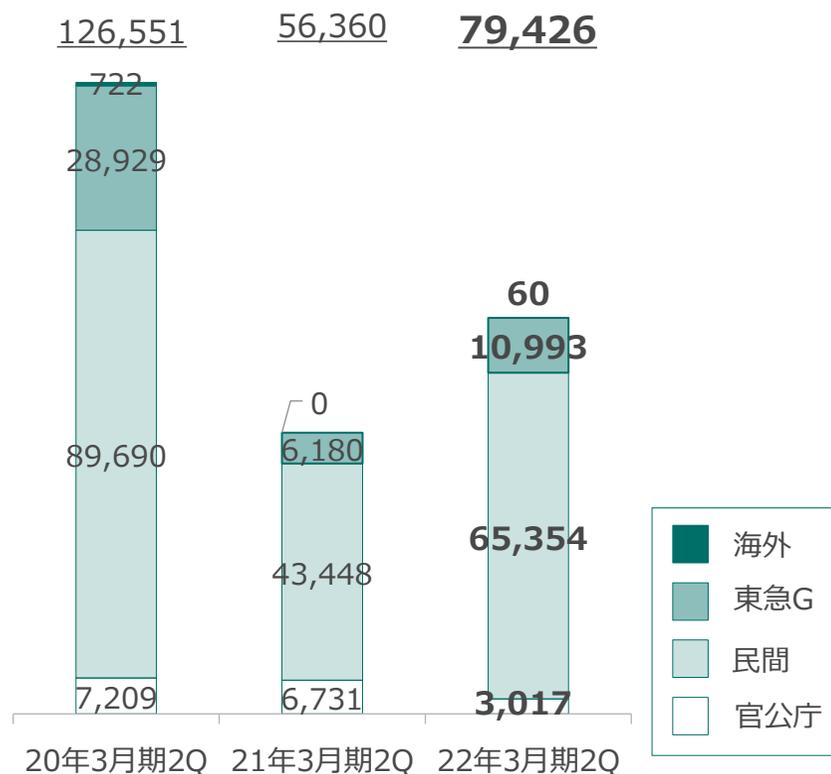
# 完成工事高・完工総利益（個別／建築）

**完工高：前期受注した大型工事が進捗し、前年同期比約40%増加**

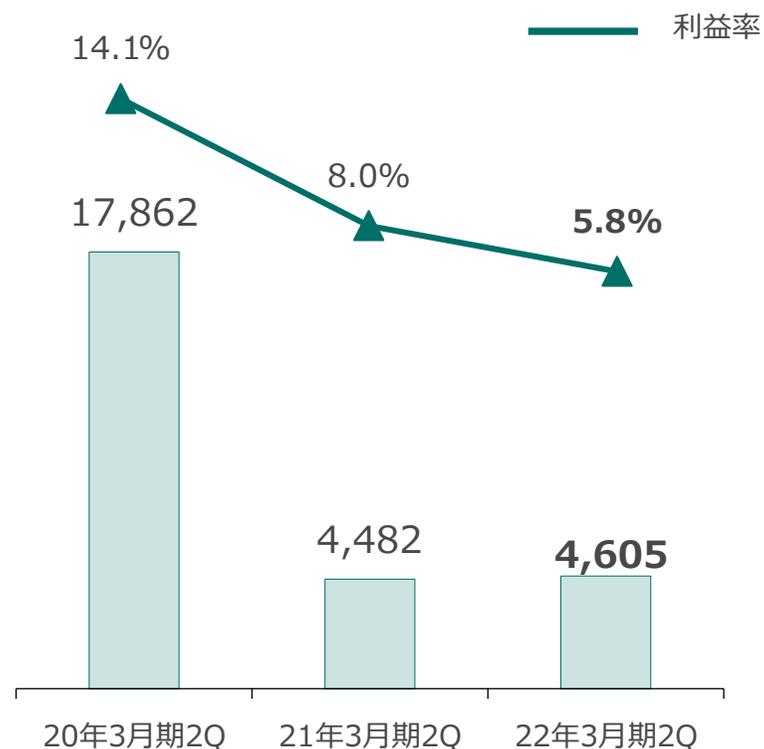
**総利益：完工高の増加により増益となるも、個別要因の影響により利益率低下**

単位：百万円

## 完成工事高



## 完成工事総利益

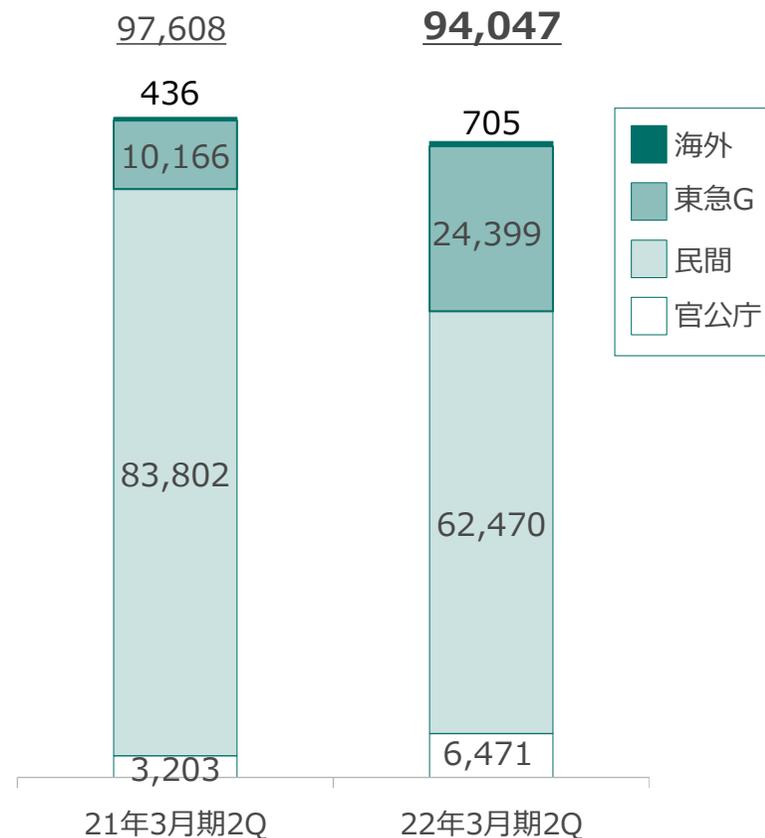


# 受注高（個別／建築）

前期複数の大型物流を受注した一般民間が減少、大型案件受注の東急Gは増加  
 通期受注予想2,000億円に対し約47%の進捗

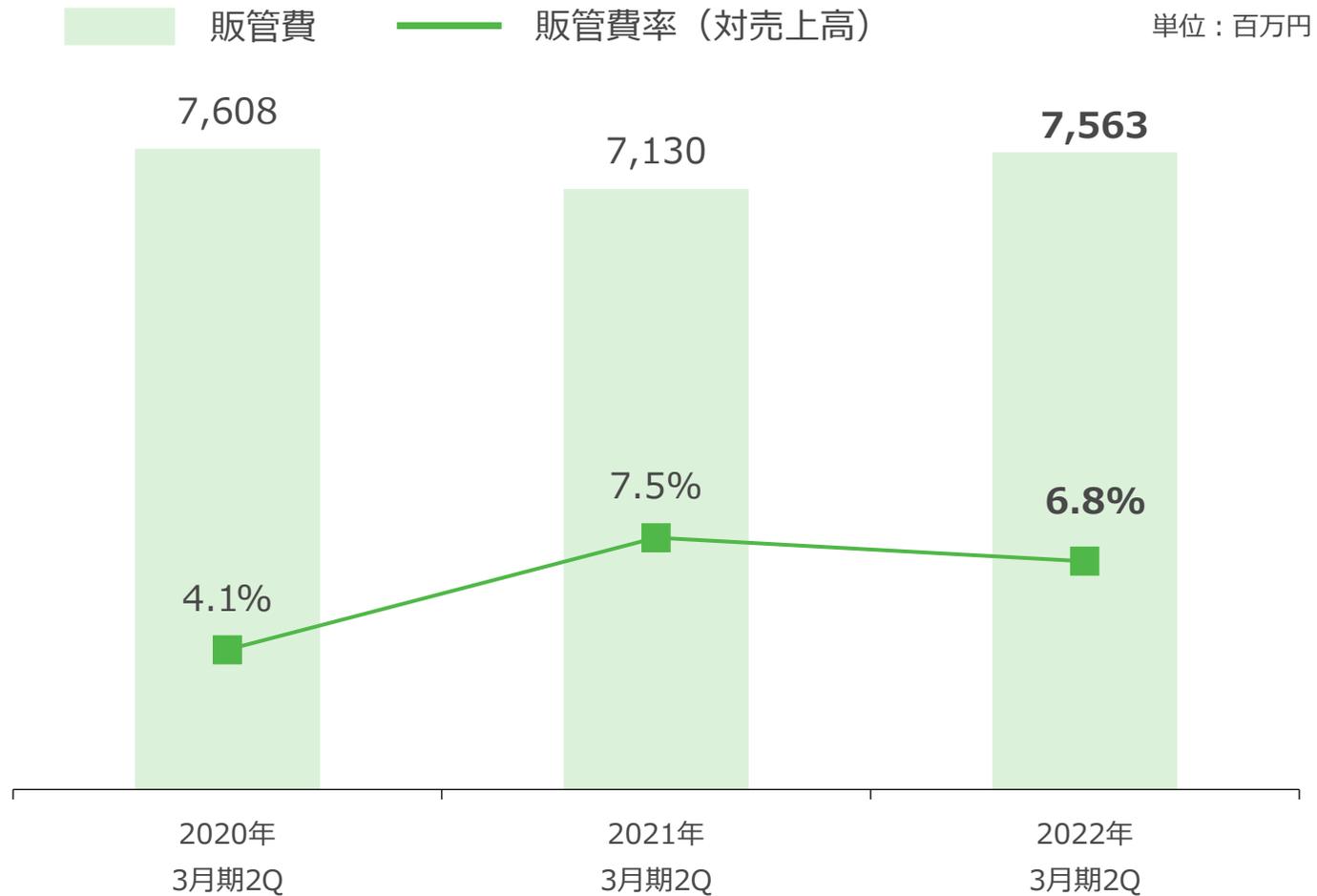
単位：百万円

		2021年 3月期2Q	2022年 3月期2Q	対前年 増減	増減率
建	国内官公庁	3,203	<b>6,471</b>	3,268	102.0%
	国内民間	93,968	<b>86,870</b>	△7,098	△7.6%
	内、一般民間	83,802	<b>62,470</b>	△21,331	△25.5%
	内、東急グループ	10,166	<b>24,399</b>	14,233	140.0%
築	海外	436	<b>705</b>	268	61.5%
		<b>97,608</b>	<b>94,047</b>	△3,561	△3.6%



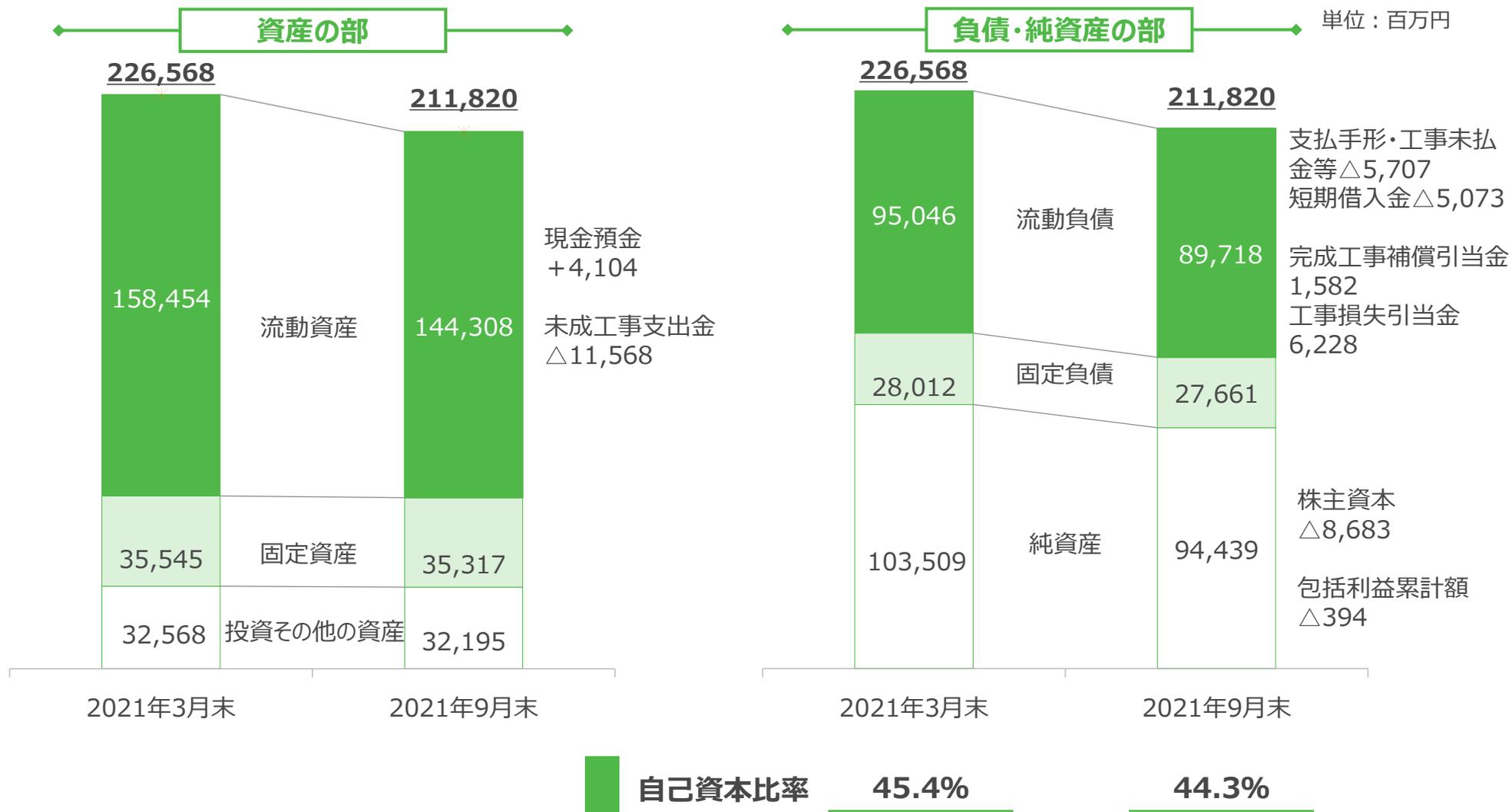
# 販売費及び一般管理費（連結）

前年同期比432百万円増加。  
 研究開発、デジタル技術・イノベーション推進などの費用が増加



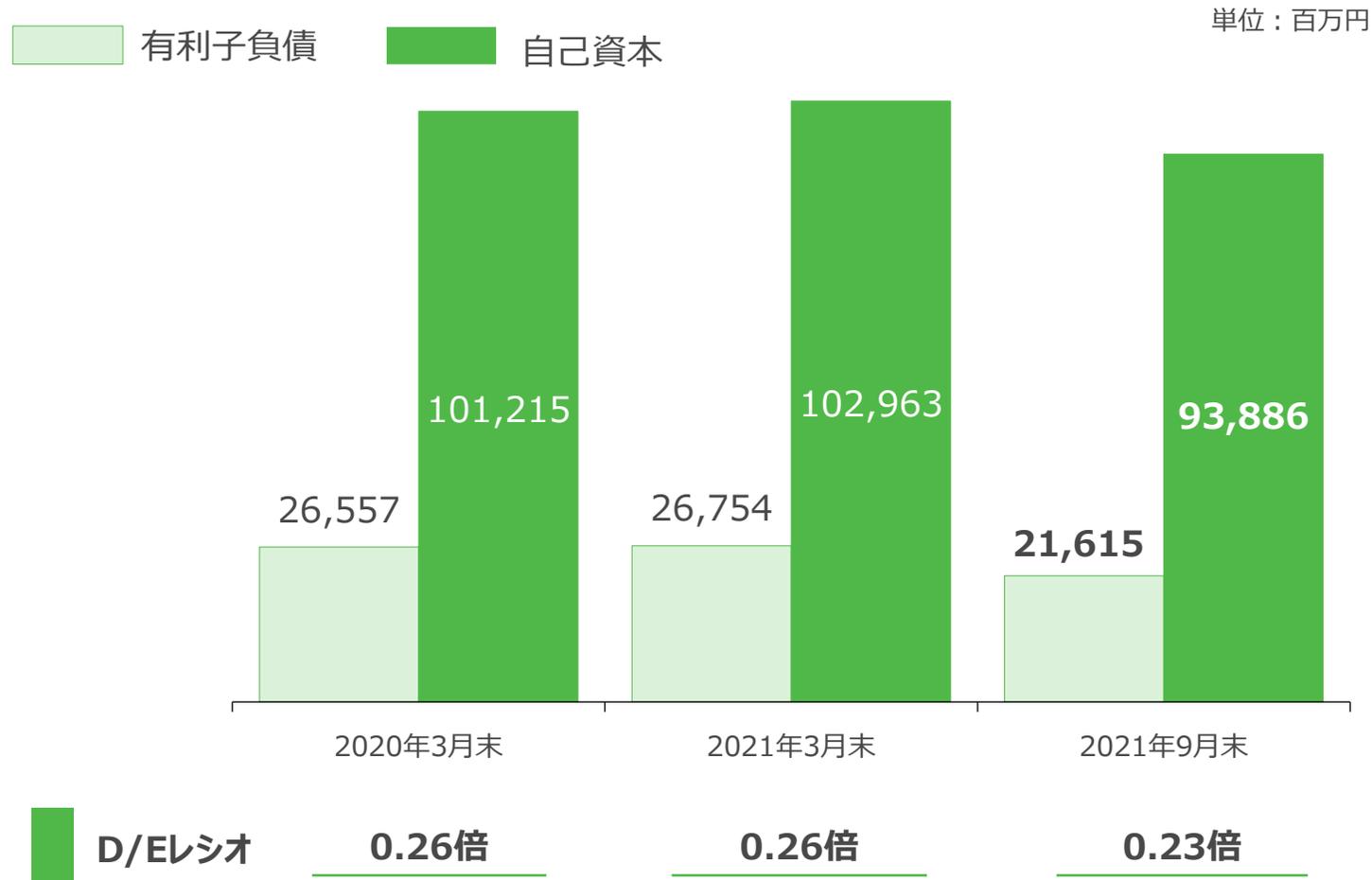
# バランスシート（連結）

## 自己資本比率は前期末比1.1ポイント減少し、44.3%



# 有利子負債と自己資本、D/Eレシオ（連結）

短期借入金の減少により、D/Eレシオは0.23倍で前期末より低下



## 売上債権の減少等により、営業CFが増加し、フリーキャッシュフローが103億円に改善

単位：百万円

科目	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	概況
営業活動によるCF	△6,793	<b>11,543</b>	純損失の計上等による資金減少があったものの、売上債権の減少や工事損失引当金の増加等により資金増加
投資活動によるCF	△2,645	△ <b>1,202</b>	投資有価証券の取得による支出や有形及び無形固定資産の取得による支出等
フリーキャッシュフロー	△9,438	<b>10,341</b>	－
財務活動によるCF	5,782	△ <b>6,208</b>	短期借入金の減少や、配当金の支払等
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△ <b>27</b>	－
現金及び現金同等物の期首残高	29,549	<b>34,173</b>	－
現金及び現金同等物の期末残高	25,890	<b>38,278</b>	－

# 2022年3月期 通期業績予想

2022年3月期第2四半期 決算説明会

## 損益予想（連結）

受注時期のずれや一部工事の進捗遅れによる売上高減少、引当金の計上による減益を踏まえ5/12公表の通期予想を下方修正

単位：百万円

科 目	2021年 3月期	比率	2022年3月期			対前年 増減	対期初 予想増減
			(期初予想)	修正予想	比率		
売上高	231,483	-	285,000	<b>267,000</b>	-	35,516	△18,000
売上総利益	18,170	7.8%	23,700	<b>13,100</b>	<b>4.9%</b>	△5,071	△10,600
販売費及び一般管理費	14,620	6.3%	16,700	<b>16,700</b>	<b>6.3%</b>	2,079	-
営業利益	3,549	1.5%	7,000	<b>△3,600</b>	<b>△1.3%</b>	△7,149	△10,600
経常利益	4,891	2.1%	7,300	<b>△3,300</b>	<b>△1.2%</b>	△8,191	△10,600
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,647	1.1%	4,800	<b>△4,800</b>	<b>△1.8%</b>	△7,447	△9,600

## 損益予想（個別）



建築の完成工事高増加により増収となる一方で、引当金計上により大幅減益  
販管費は、研究開発、デジタル技術やイノベーション推進の費用などを見込む

単位：百万円

科 目	2021年 3月期	2022年3月期			対前年 増減	対期初 予想増減
		(期初予想)	修正予想	比率		
完成工事高	214,560	265,300	<b>248,300</b>	<b>(100%)</b>	33,739	△17,000
土木	75,568	69,800	<b>64,200</b>	<b>25.9%</b>	△11,368	△5,600
建築	138,991	195,500	<b>184,100</b>	<b>74.1%</b>	45,108	△11,400
完成工事総利益	17,854	20,800	<b>10,500</b>	<b>4.2%</b>	△7,354	△10,300
土木	6,031	6,900	△1,400	△2.2%	△7,431	△8,300
建築	11,822	13,900	<b>11,900</b>	<b>6.5%</b>	77	△2,000
不動産事業等売上高	1,684	1,700	<b>1,700</b>	-	15	-
不動産事業等総利益	△1,336	800	<b>800</b>	<b>47.1%</b>	2,136	-
売上高	216,245	267,000	<b>250,000</b>	-	33,754	△17,000
売上総利益	16,517	21,600	<b>11,300</b>	<b>4.5%</b>	△5,217	△10,300
販売費及び一般管理費	14,043	15,900	<b>15,900</b>	<b>6.4%</b>	1,856	-
営業利益	2,474	5,700	△4,600	△1.8%	△7,074	△10,300
経常利益	3,054	5,900	△4,500	△1.8%	△7,554	△10,400
当期純利益	1,262	3,900	△5,600	△2.2%	△6,862	△9,500

**土木：前期大型工事受注の一般民間は反動減、前期コロナ禍の東急Gの増加**  
**建築：一般民間は前期大幅増の反動減だが、官公庁と東急Gは増加を見込む**

単位：百万円

		2021年3月期	2022年3月期 (修正予想)	対前年 増減	増減
土 木	国内官公庁	37,099	<b>34,000</b>	△3,099	△8.4%
	国内民間	25,184	<b>21,000</b>	△4,184	△16.6%
	内、一般民間	20,752	<b>13,000</b>	△7,752	△37.4%
	内、東急グループ	4,432	<b>8,000</b>	3,567	80.5%
	海外	1,429	<b>2,000</b>	570	39.9%
		63,713	<b>57,000</b>	△6,713	△10.5%
建 築	国内官公庁	5,731	<b>18,000</b>	12,268	214.0%
	国内民間	235,125	<b>180,000</b>	△55,125	△23.4%
	内、一般民間	209,636	<b>145,000</b>	△64,636	△30.8%
	内、東急グループ	25,488	<b>35,000</b>	9,511	37.3%
	海外	2,063	<b>2,000</b>	△63	△3.1%
		242,920	<b>200,000</b>	△42,920	△17.7%
<b>建設計</b>		<b>306,633</b>	<b>257,000</b>	△49,633	△16.2%

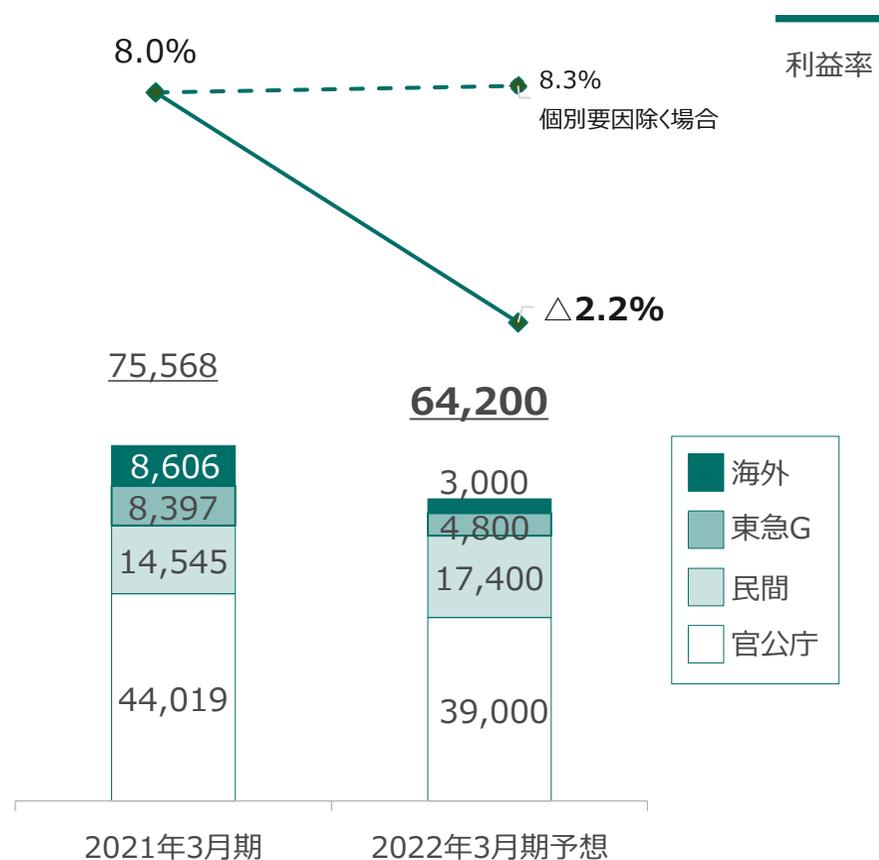
# 損益・受注高予想（個別／土木）

個別要因の影響に加え、鉄道工事や海外工事の影響より利益率が大幅に低下  
（個別要因を除いた場合、利益率は8.3%水準）

受注は、国内官公庁の取組強化し期初想定通り570億円を見込む

単位：百万円

## 完成工事高・完工総利益率



## 受注高



## 【繰越工事高】

	2021年3月期	2022年3月期予想
期首繰越高	118,531	94,009
受注高	63,713	57,000
完成工事高	75,568	64,200
<b>次期繰越高</b>	<b>106,676</b>	<b>86,809</b>

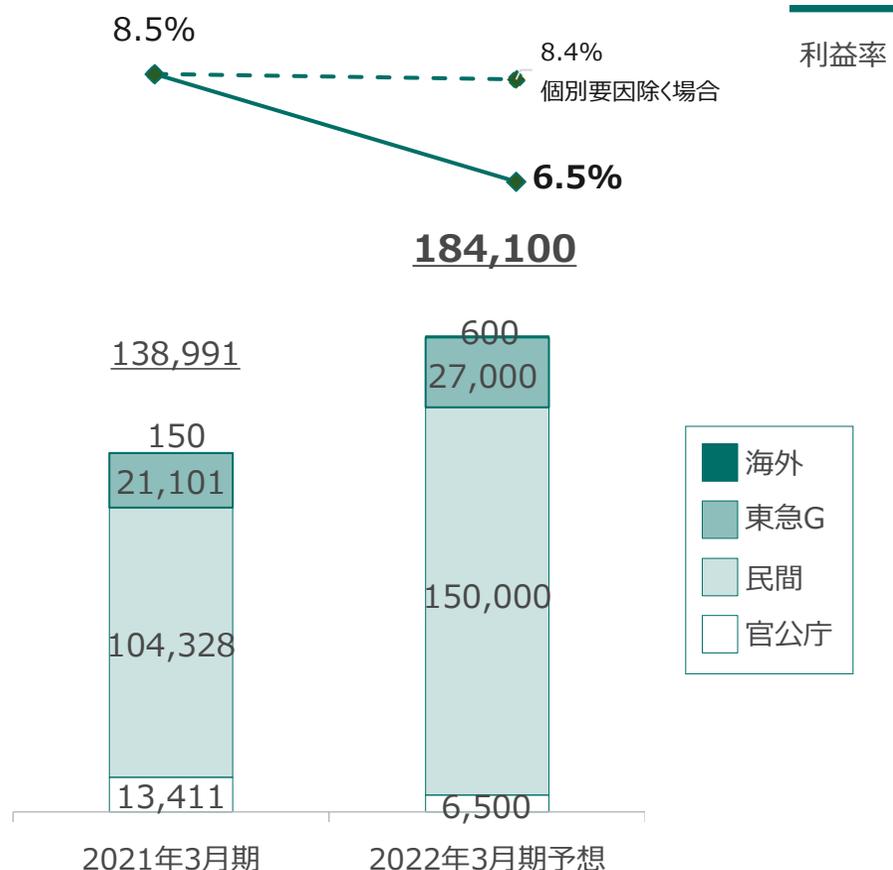
# 損益・受注高予想（個別／建築）

大型工事進捗により完工高が増加の一方、個別要因の影響により利益率低下  
 （個別要因を除いた場合、利益率は8.4%水準）

受注は高水準だった前期から減少も期初想定通り2,000億円を見込む

単位：百万円

## 完成工事高・完工総利益率



## 受注高



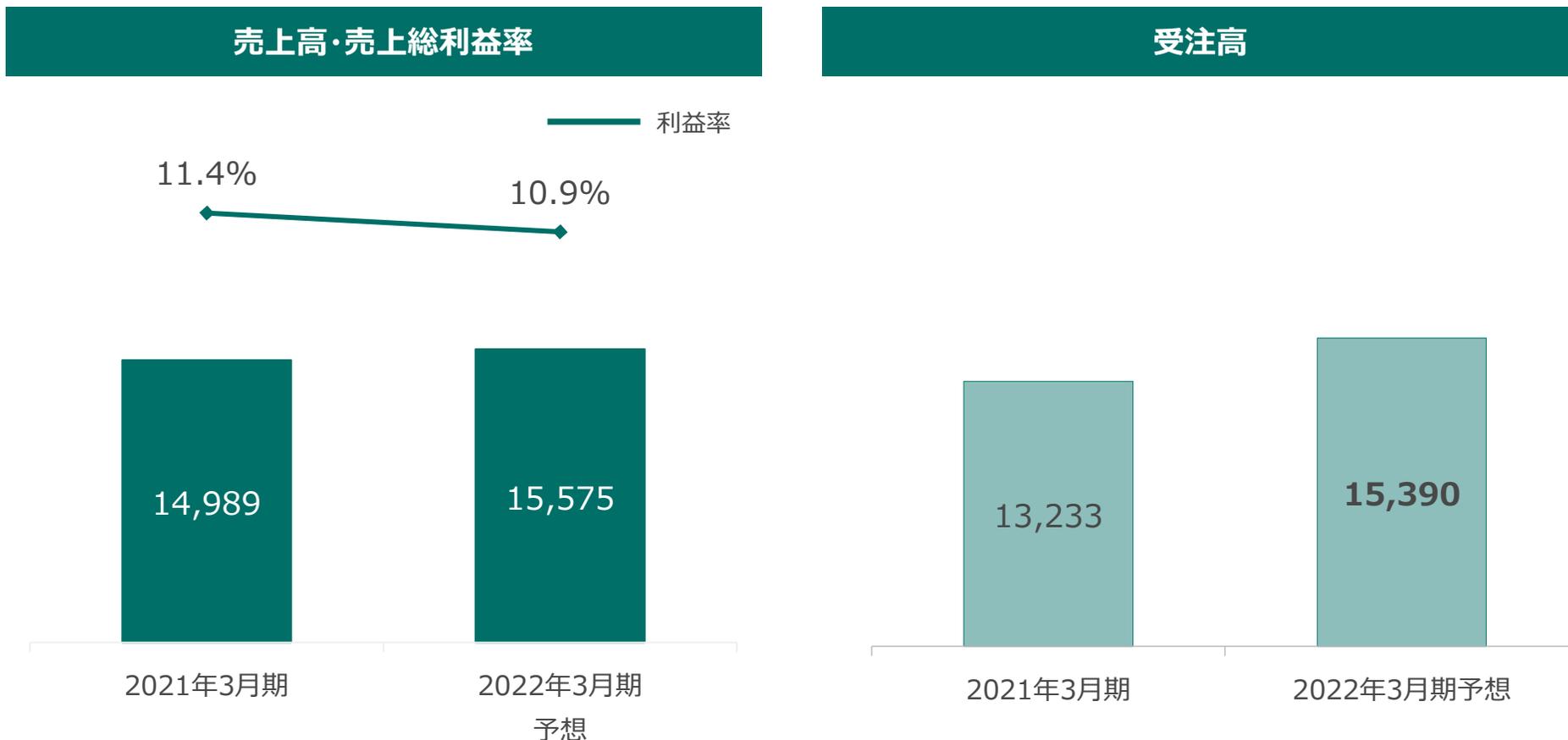
## 【繰越工事高】

	2021年3月期	2022年3月期予想
期首繰越高	133,007	235,453
受注高	242,920	200,000
完成工事高	138,991	184,100
<b>次期繰越高</b>	<b>236,935</b>	<b>251,353</b>

# 売上高・売上総利益率予想（建築リニューアル）

足元で徐々に引き合いが増えているもののコロナ禍の影響により回復は限定的  
各階・テナント完結型の「ZEB Ready」化リニューアルを顧客へ提案

単位：百万円

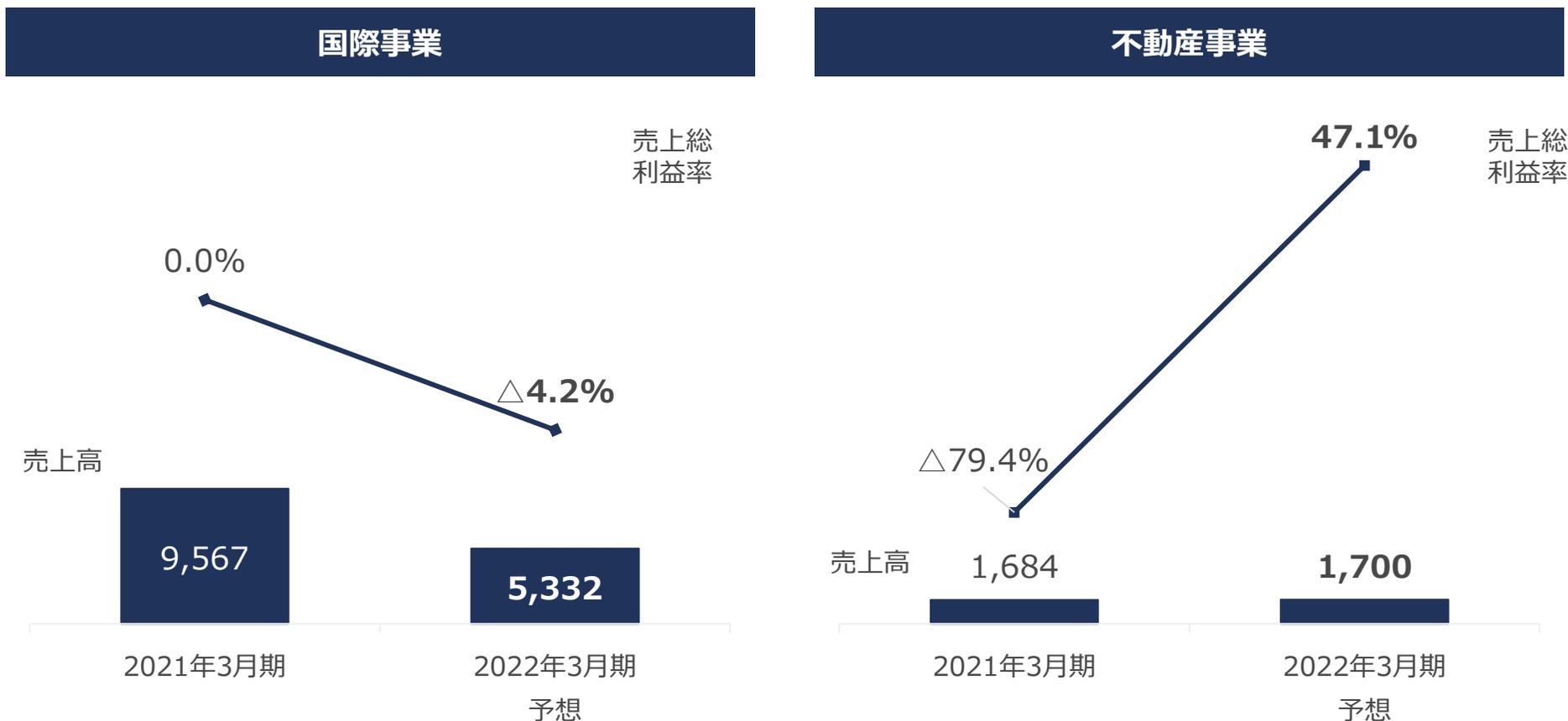


※建築リニューアル事業は、同事業を行う子会社の東急リニューアル・東建産業の数値を単純合計したもので連結消去は考慮しておりません。

# 売上高・売上総利益率予想（国際・不動産）

**国際事業：東南・南アジアのODA中心に展開。ミャンマーの工事進捗に影響**  
**不動産事業等：開発物件の前期収益悪化影響が解消し利益率が改善の見込み**

単位：百万円

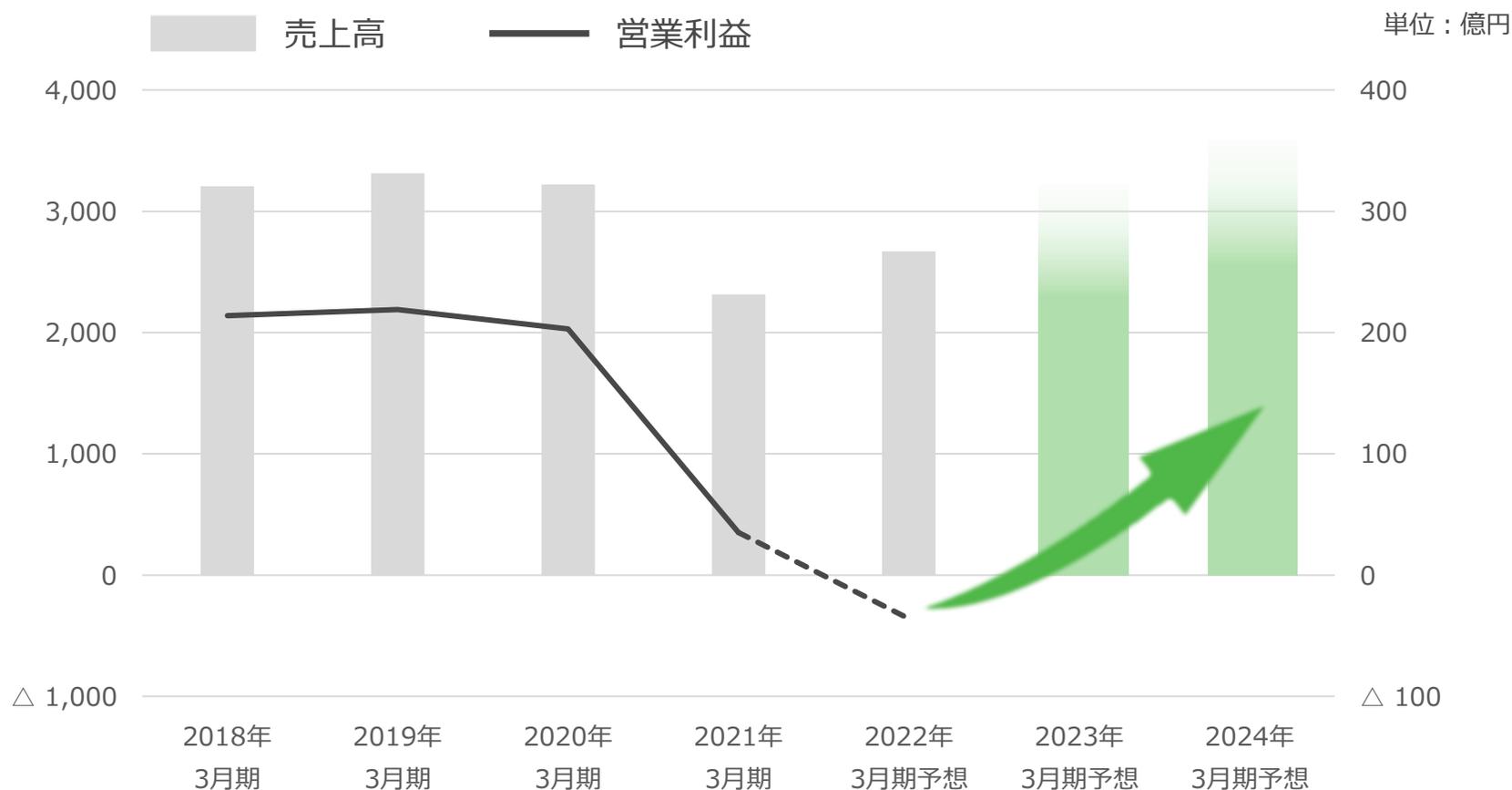


※国際事業は、当社個別の国際事業に海外子会社（TCI、GTC、INDOCHINE ENGINEERING関連会社）の数値を単純合計したもので連結消去は考慮していません。（TCI：トウキョウコンストラクション・インドネシア、GTC：ゴールデン・トウキョウ・コンストラクション（ミャンマー））  
 ※不動産事業は、当社個別損益計算書の不動産事業等売上高、売上総利益の数値。

# 今後の業績回復に向けて

業績予想の修正に至った事象の発生を重大に受け止め、再発防止の徹底、信頼回復に全力で努める

提案力の強化、ターゲット案件の受注、採算改善に総力を挙げて取り組む  
 長期経営計画の戦略や株主還元方針に変更はなく、引き続き推進する



## 【脱炭素】

## 【廃棄物ゼロ】

### 環境建築（ZEB・ZEH-M）への要請に応える取り組み

ZEB・ZEH-Mなど環境配慮建物に関心のあるお客様の要望に合った最適なプランをご提案



当社独自の「省エネシミュレーションツール」でその場でエネルギー消費量やコストの概算を算定

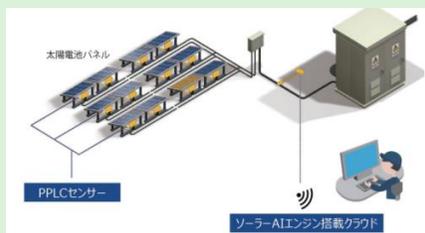
建物全体でなく、各階・各テナントエリア完結型で「ZEB Ready」化の技術を実証



リニューアルZEB提案ライブオフィス  
をオープン（子会社：東急リニューアル）

### ベンチャー企業へ投資

3つの提供価値、人材、デジタルをターゲットに、新たな成長機会の創出を目的としたベンチャー投資。第一弾として太陽光発電パネルの保守管理技術を持つ「ヒラソル・エナジー」社へ投資



### 作業所での取り組み

CO2排出削減に向け、新たに着工する全工事で、100%再生可能エネルギー由来の電力を使用。



安定供給に向け小売電気事業者と基本契約締結

環境負荷の少ない軽油代替燃料「GTL燃料」を国内建設現場に採用

低炭素かつ副産物を有効利用した環境配慮型材料を開発し採用

### 低炭素型コンクリート「CELBIC」

セメントの一部を高炉スラグ微粉末で置換し、CO2を最大63%削減



### 環境負荷低減型先送り材「サスタル」

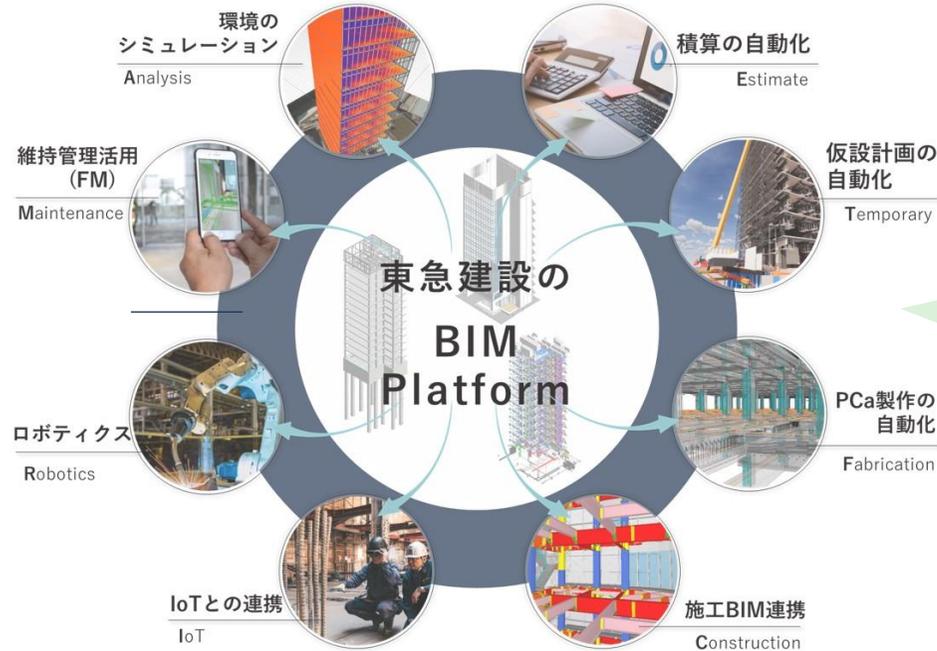
成分の90%以上を副産物で構成し、CO2を70%削減



## 【デジタル技術】

### 建築事業のBIM

データプラットフォームとして、**省力化・効率化を全社的に推進するとともに、デジタルツインとして様々な活用の可能性を模索**



2020年10月  
海外のBIM設備設計会社を子会社化 (INDOCHINE社)

MR(複合現実)を活用した建築物完了検査の模擬実験 (協力: 日本ERI)



2021年1月  
建築積算会社を子会社化(川村積算)

2021年4月  
Pcaコンクリートを製造販売する「岩瀬プレキャスト」を合併で設立

2021年5月  
BIM活用を全社的に推進するため、着工前に意匠・構造・設備を網羅したBIMファームモデルを全ての建築作業所へ展開

2021年11月  
BIMモデルをファシリティマネジメントへ活用。施工からメンテナンスまでデジタル化



### 土木事業のBIM/CIMの実践例 (東京メトロ銀座線渋谷駅移設工事)



3次元モデルのシミュレーションやVRへの応用により**高度な施工管理を実現**。土木事業において、CIMを活用できる人材育成を進める。

## 【防災・減災】

### 防災対策や老朽化インフラ更新への対応

地震等発生時の建物構造の状態をモニタリング

建物構造見守りサービス「4D-Doctor」を組み合わせた「Dr.BC・プッシュ」が、防災防疫製品大賞2021先端技術・情報通信部門で最優秀賞を受賞



### インフラアセットマネジメント

ISO55000sを取得し、得意分野である鉄道関連の構造物やインフラなどを中心に、点検・維持管理事業を推進



### トンネル全断面点検・診断システムiTOREL（アイトーレル）



老朽化したトンネルのコンクリートの浮きとひび割れをリアルタイムで自動検出

## 【人材】

新たな企業ビジョンVISION2030の共有活動を継続的に実施



新たに策定した2030年の企業ビジョンの理解・共感のため経営者と従業員5名程度の少人数での対話を実施。全従業員との対話に向け継続。

全従業員を対象としたインナーイベントを実施。東急グループの源流を築いた渋澤栄一の玄孫渋澤健氏を招き、講演や社長の寺田とパネルディスカッションを実施



### 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定を取得



### プライム上場

2022年4月からの新市場区分「プライム市場」へ上場を選択

「建てる」を超え、  
未来を生みだす。



東急建設

【お問い合わせ先】

経営戦略本部 経営企画部 西田／森田

TEL 03-5466-5008

URL [webmaster@tokyu-cnst.co.jp](mailto:webmaster@tokyu-cnst.co.jp)